

日本社会情報学会ニュース

第34号 2009. 6. 15

- I. 2009 年度理事選挙投票のお願い (理事選出管理委員会)
 - II. 若手研究者支援実践型ワークショップの報告と募集 (企画委員会)
 - III. 名簿記載事項加筆・修正等のお願い (事務局)
 - IV.
 - V. 会費納入のお願い (事務局)
-

I. 2009 年度理事選挙投票のお願い (理事選出管理委員会)

先にお知らせしましたように、6月16日～7月15日(必着)の間に、理事選挙投票を行います。今回の郵送物の中の、「日本社会情報学会理事選出の投票について」を読んでいただき、「選挙名簿」を参考に、青色の「投票用紙」に5名の不完全連記にて理事候補名を記入し、「投票用紙封入封筒」(茶封筒)に封入・糊づけの後、「返信用封筒」(日本社会情報学会事務局宛)にて、事務局までご返送下さい(切手は不要です。恐れ入りますが、この返信用封筒は、名簿修正連絡の返却用封筒としてもお使いいただきます)。

今後の役員選出スケジュールは下記の通りです。

- 7月15日(水) : 投票締切。
- 7月16日(木) : 開票 ; 上位10名が当選。
任期2年。連続3選は不可能。同一大学・研究機関から2名以内。
65歳以上を除く。
- 7月25日(土) : 第54回理事会において推薦理事候補者5名以内を選出。
理事会において監事候補者2名を選出。
- 9月12日(土) : 新たに選出された理事により、新会長と新副会長を互選する。この結果を直後の第15回総会で報告して、承認を受ける。
第15回総会において理事・監事選出結果を報告し、承認を受ける。

II. 若手研究者支援実践型ワークショップの報告と募集 (企画委員会)

(1) 企画委員会 若手支援公募型&実践型ワークショップ 第2弾報告

企画委員会では、研究委員会と合同で、以下のように「若手研究者支援・公募型&実践型ワークショップ」第2回目を名古屋大学で開催いたしました。全国から応募のうえ、企画委員会内の査読委員会によって選抜された若手研究者の報告は、哲学から情報科学に渡った幅広い分野でありながらも、どれもクオリティの高いものばかりで、JSISの明るい未来を感じさせました。また、地域情報化の最前線をけん引なさっているコメンテータの方々による議論は、単なる若手研究へのアドバイスを超え、社会の現実を問いたださるものでした。40名を超えた会場からの意見も沸騰し、そのまま予約会場に入りきれないほどの方々が懇親会に流れ込み、内容の濃い夜となりました。

あらためて参加してくださった皆様、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。新潟合同大会では、第3弾が予定されております。ますますのご協力をお願いいたします。

若手支援企画第2弾 中部地区研究会共催

テーマ：「情報化する地域—地域のどこに情報があるのか？地域はそれを活かせるか？」

・日時：2009年3月15日(日) 13:00~17:00

・場所：名古屋大学大学院 情報科学研究科

選抜報告者

1. 吉野太郎 (関西学院大学総合政策学部・ひょうごんテック)
「地域情報化のためのインフラ作成とは—NPO/NGOの情報通信技術 (ICT) 支援の現場から見る現状とリテラシー」
2. 本田正美 東京大学大学院 (学際情報学府博士後期課程)
「自治体広聴制度と自治体 CIO の役割」
3. 平田知久 京都大学文学研究科 (グローバル COE 研究員)
「データベースとしての「地域」とは何か？——人々はそれをどのように生かすことになるのか？」
4. 近藤真由 名古屋大学大学院 (情報科学研究科博士後期課程)
「地域サイトの継続促進のための情報収集プロセスの構築と運営」

コメンテータ

1. 馬宮和人 総務省情報流通行政局地域振興課 課長補佐
2. 井上滋樹 (株)博報堂 MD 統括局
3. 大西光夫 NPO 法人ボランタリーネイバーズ 理事長
4. 加藤清明 中京大学現代社会学部教授 (中部地区研究委員)

(2)若手支援ワークショップ第3段 公募情報

JSIS&JASI 合同学会大会内

若手研究者支援実践型ワークショップ (第3弾) 発表公募のお知らせ

新潟合同大会内のワークショップとして、以下のテーマでの開催を予定しています。研究環境が厳しくなる中で私たちは、ますます自らの研究の社会的意義や必要性を問われています。そこで Up to date なテーマにおいて、実社会で各領域を牽引する第一人者をコメンテータにお招きし、その前で報告することで研究スキルを高めつつ、通常の学会報告では得られないコメントを得て、人的なネットワークやチャンスを掴むきっかけとなるような場をつくりたいと考えています。

報告者は、広く公募いたします。多くのお申し込みをお待ちしております。

・テーマ：「蓄積・再編・駆使する／される情報—アーカイブ、集合知、クラウドコンピューティング」

・テーマ解題：

私たちはすでに、「情報を再集約する」仕組みに取り囲まれて生きている。「アーカイブ」と、「データベース」と、時には「クラウド・コンピューティング」の具体例と呼ばれるものに至るまで、情報を掻き集め、ストックし、限界まで駆使しようという意図は、経済活動・地域情報化など実践面においても、情報科学・社会科学問わず学問領域においても、ますます色濃くなっている。

しかし社会情報学の観点からは、いくつもの問いが残るだろう。「その仕組みは、本当に役に立つのか」「それは、誰のためのものなのか」「情報は、どこに蓄積され、誰によ

って使われるべきなのか」・・・などなど、具体的にかつ実践的に再考されるべき論点は多いはずだ。

若手研究者の多数は、大なり小なりアーカイブやデータベースのような「情報が再集約され利用される仕組み」に関与している。その有用性、社会的意味を問いなおすことは、集合知の時代に生まれ、それを担い、生きていく若手研究者の責務であると思う。第一線の実践家をコメンテータにお迎えしつつ、関連する研究を、文系・理系を問わず応募を受け付ける。若手研究の内容を洗練させる討議空間にするのはもちろん、人脈を広げるきっかけの場にもしたいと考えている。

・ (1) コーディネータ :

大國充彦 (札幌学院大学) ・ 柴田邦臣 (大妻女子大学)

・ (2) コメンテータ :

テーマに関して、実社会で各領域を牽引する第一人者をコメンテータにお招きします。現在、岡本真氏 (Yahoo! 智恵袋責任者兼 AGR 発行人) などの方々にお問い合わせの予定です。若手研究者がその前で報告することで、研究スキルを高めつつ、通常の学会報告では得られないコメントを得て、人的なネットワークやチャンスを掴むきっかけとなるような場をつくりたいと考えています。

・ (3) 指定報告者 :

本ワークショップの報告者 (3 名程度) は、若手研究者の中から広く公募します。応募者多数の場合は、テーマとの関連性・発表の充実度・ワークショップとしての議論の構成を鑑み、コーディネータが報告者を指定いたします。希望者は以下のように応募してください。多くの方々の応募をお待ちしております。

・ 応募資格 : 40 歳以下ないしは研究歴 10 年以内の研究者。

・ 応募要項 : 以下の 2 点をメールにてコーディネータまで提出してください。

1. メール本文に氏名・所属・年齢を記載してください (研究歴 10 年以内の立場で応募の場合は、書式自由で履歴を付記すること)。所属は問いません。
2. 発表論文を MS-Word 形式、または PDF 形式で作成のうえ、添付してください。発表論文の書式・分量は、大会自由報告の発表論文の書式に従ってください。なお応募された発表論文は大会論文集ではなく、別に作成された本ワークショップ用の当日資料に掲載されます。

・ 締切 7 月 3 日 (金・厳守)。大会自由報告とは異なりますので、注意してください。

・ 応募先 : コーディネータ 柴田邦臣 k.shibata@otsuma.ac.jp

※ 自由報告に申請した方でも、本ワークショップに応募することができます。ただし、発表の内容は自由報告と重複しないよう、特に実践家のコメンテータと議論ができるように視点を変えて、作成して応募してください。

※ 表の形式は 15 分程度で通常の報告と同じですが、試作品の実演など工夫したプレゼンをすることもできます。詳細はコーディネータまでお問い合わせください。

※ コーディネータによる報告者の指定は、7 月末までにおこない、報告者のみにご連絡いたします。ワークショップとしての議論の構成のため、若干の修正をお願いすることがあります。ご質問はコーディネータまでお問い合わせください。

Ⅲ. 名簿記載事項加筆・修正等のお願い（事務局）

2009年度は名簿改訂の年に当たります。2009年9月の大会時を目処に、名簿改訂準備中ですので、現在事務局が保持している名簿記載内容のうち、学会名簿に記載予定の諸事項のチェックをお願いいたします。確認いただく事項は、氏名、ふりがな、所属、専門分野、自宅住所・TEL・FAX、所属住所・TEL・FAX、Emailです。各会員に現在の記載事項及び、名簿非記載希望箇所についての情報を郵送にて送りましたので、修正のある場合は、加筆・修正及び、非記載希望などをお書きいただき、その用紙をFAX、もしくは返却用封筒（理事選挙投票用紙返却用封筒を兼ねる）、あるいはメールなどの方法にて事務局までご連絡下さい。修正依頼の締め切りは、理事投票締め切りと同じ、7月15日（水）とさせていただきます。

Ⅴ. 会費納入のお願い（事務局）

先に会費請求をさせていただきましたが、現在の会費納入率は2008年度75%、2009年度27%となっております。理事会でもいろいろと新たなサービスを検討しておりますが、その実施には会員の皆様からの会費納入が前提条件ですので、よろしくをお願いいたします。

会費は、一般会員10,000円、学生会員5,000円です。請求書および振替用紙を同封いたしましたので、会費納入にはJSIS振替口座（ゆうちょ振替口座：口座番号00140-2-763005）をご利用下さい。

なお、会費自動引き落としを登録されている方は、7月に引き落とす予定です。

また、2008年度以前の会費を未納の会員の方は、それ以前の会費とあわせて納入いただけるよう重ねてお願い申し上げます。

日本社会情報学会（JSIS）事務局

〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3丁目5-1
静岡大学情報学部 藤井研究室気付
TEL&FAX 053-478-1522（直）
e-mail : s-info@inf.shizuoka.ac.jp
URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>

日本社会情報学会（JSIS）振替口座（ゆうちょ振替口座）

- ・口座名 日本社会情報学会
- ・口座番号 00140-2-763005
- ・口座住所 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザB1
NPO法人iコミュニティ内 日本社会情報学会（JSIS）
会費・和雑誌受領担当 和泉恵子
- ・e-mail : desk@NPOicom.com